

# 経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和2年4月16日(木)午前10時04分～午前10時19分(9階908会議室)

## ○出席委員(7名)

委員長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委員	高木 直人
委員	川又 康彦
委員	石山 波恵
委員	阿部 亨
委員	小松 良行

## ○欠席委員

委員	山岸 清
----	------

## ○市長等部局出席者(なし)

## ○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- 1.当局説明について
- 2.その他

---

午前10時04分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

山岸委員より本日1日間、欠席の連絡がありましたので、ご報告いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査についてを議題といたします。

初めに、1、当局説明についてを議題といたします。

前回の3月18日の委員会以降、新型コロナウイルス感染拡大により、4月7日には国の緊急事態宣言が出され、不要不急の外出を自粛する動きが加速しております。市内でも13日段階で11名の方の感染が確認されており、当委員会の所管事務調査をめぐる状況も大きく変わってきております。前回の委員会で、今後の調査の進め方については、5月末に当局説明、6月末から7月上旬にかけて現地調査を実施する予定と皆様にご確認いただいたわけではありますが、改めて13日月曜日の正副委員長の打合せの内容も踏まえて後ほど協議をお願いしたいと思います。

ご承知かと思われませんが、NHKでは新型コロナウイルス感染症対策でエールのロケが中断されていま

す。今後、エールの番組制作並びに放送がどのようなになるのか気がかりな点です。これに関しては、NHKとの窓口となっている福島市ロケツーリズム推進会議事務局、市観光コンベンション推進室の担当者の話では、現状はNHK職員がテレワークで作業をしており、エールのロケ再開等については現在の緊急事態宣言が今後どうなるのかにかかっており、見通しが立っていない状況です。ただ、出演者は人気の俳優ばかりで、ロケの先延ばしがかなり難しいことが予想されており、ドラマ自体が当初の計画どおりに進められるか、内容も含め検討が重ねられているらしいとのこと。

正副委員長としては、今後の新型コロナウイルス感染症対策の状況も大きく変化していくことが予想される中、NHKのエール制作方針の変更の有無を踏まえて、当局の今後の進め方を見極めていくのが肝要かと捉えております。そこで、5月下旬に実施予定の当局説明までは予定どおり進めて、委員間で情報の共有を図り、それ以降については状況の変化に応じて改めて委員の皆様にお諮りして、再度協議を重ねる方向でいかなるものかと考えるに至りました。

この件に関しまして委員の皆様のご意見をお伺いいたします。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、5月下旬に当局説明を行いたいと思いますので、当局説明案の内容につきまして協議をお願いいたします。

まず、会議の冒頭で申し上げましたように、前回の3月18日の委員会以降、新型コロナウイルス感染拡大により、不要不急の外出を自粛する動きが加速している中で、当委員会の所管事務調査をめぐる状況が大きく変わってきておりますが、当初の予定では、ゴールデンウィーク明けには、恵那市の行政視察でも伺ってきたように、想定外の大きな反響を聴取できるものと期待していたわけですが、新型コロナウイルス感染拡大により、大変厳しい状況になっています。しかし、今後の所管事務調査の進め方を検討するにあたり、委員会として現状を確認し、次につなげていくため、当初計画の取組状況を厳しい結果であっても正面から聴取していかなければなりません。

まず、お手元の資料、当局説明案を御覧ください。現時点で想定しております当局からの聴取事項について正副手元でまとめた案でございます。1、調査日時でございますが、令和2年5月下旬の午後1時半から1時間程度で考えており、当局からの説明30分、質疑応答30分で想定しております。また、当局説明終了後は委員の皆様にはお残りいただき、そのまま意見開陳をする予定であります。日程については、2日ほど委員の皆様にご確保していただいておりますが、本日の委員会終了後に最終的に決めてまいりたいと思います。

2番目、場所については、9階の908会議室を予定しております。

3番目、聴取内容でございますが、(1)、ドラマ放映開始後の古関裕而記念館等本市への観光客入り込みの状況と受入れ体制整備の状況として、①、駐車場や新商品の開発、お土産売場、古関裕而記念館リニューアル等、観光客の受入れ体制の整備状況について、2番目としまして、ドラマ放映開始後の3月末から5月上旬までの古関裕而ストリートや古関裕而記念館をはじめとした展示スペース

等の観光客入り込みの状況について、3つ目に、3月定例会議の最終日に議決したピンチをチャンスにプロジェクトの実施状況について、大項目の2番目としまして、NHKとの連携の状況やドラマと連動した取組の状況について、大項目の3つ目としまして、そのほか古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニーに基づく取組の現在の進捗状況と今後の予定について、市民・文化スポーツ部から前回当局説明のあった時期以降の全体の進捗状況を見ていきたいと考えております。

4つ目としまして、当局出席者についてですが、市民・文化スポーツ部職員、商工観光部職員を考慮しております。

この当局説明案について委員の皆様から何かございますでしょうか。

(川又康彦委員) 今回聴取内容のほうにピンチをチャンスにプロジェクトの実施状況というのが付加されたというか、聞くような内容になってくるかと思うのですが、正直言って上2つについては明らかに減っていく感じになってしまうので、これをどういうふうに調査事項としてまとめていくのかというのは在り方自体難しくなってくるのかなという感じがしていて、ピンチをチャンスにプロジェクトもあるかと思うのですが、経済民生常任委員会である我々に対しての期待というか、それは非常に大きいものを感じていて、これから追加の緊急会議なのか、何か話が来ているのかどうか分かりませんが、そういった内容についても5月の、今は明文化できないかもしれないですが、そういったものも取り上げていくような方向性を示していただければよりありがたいかなと思いますけれども、どんなものでしょうか。

(二階堂武文委員長) ご意見いかがでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、正副の打合せでも今川又委員のほうから出た件につきましてはちょっと話題にはなったのですが、今皆様にお諮りしているのは今回私どもがやってまいりましたこの間の所管事務調査に基づいたものでしたので、まずはこの所管事務調査について今後どうするのか、その判断を得るがために、現状認識をきちとした上で今後どうするかをしないと、例えば今、新聞報道等で結構旅館さんとか飲食店さんの状況が毎日いろいろ大変だという状況が報道されておりますが、新聞報道とはまた別に、そういったものを当局がどこまできちとデータを押さえているかという問題があります。その辺も含めた形で古閑裕而の今回の様々な取組の状況が、コロナ感染症の広がりの影響を受けて、中には中止せざるを得ないものもありますし、先ほどお配りしましたエール展なんかは開催延期というのが今朝プレスリリースで出ています。こういった状況を次の当局説明で聴取した上で、今後のことにつきましてはそれをベースに皆様からまたご意見をお伺いして、今後のことを議論して、協議してまいりたいというふうにまずは考えております。

(小松良行委員) 古閑裕而記念館のことも当局説明で聞けるの。

(二階堂武文委員長) 聞けます。

(小松良行委員) 今の収録分が放映されるは、いつぐらいまで。

(二階堂武文委員長) 2か月、3月下旬から始まっていますから、5月いっぱい。

(石山波恵委員) 5月ぐらいまでは放映はまだ素材はあるとは言っていましたけれども、その後が。多分この後スケジュール皆さん俳優さん忙しいので。普通は3月から始まって終わるのが9月。10月までとはならないと。そうすると本当は全部のストーリーをやるわけだったのが割愛されたりして短くなる可能性のほうが高いとはちょっと聞いていたのですけれども。終わりを後ろに持って行かずらすのではなく、どうしても9月までのスケジュールとなると、本当はもっと細かい内容があったはずが、その分1週間分飛んでしまったりとなると、せつかくのチャンスなのにもったいないというところがちょっと。

(二階堂武文委員長) その辺も含めて、多分5月下旬の当局説明で聞けると思います。ですから、そういったもろもろの周りの環境なり当局の対応が少し固まった段階で、それをちゃんと委員会として意見を聴取して、今後の委員会の進め方を皆様に協議していただくというような手順を踏ませていただければというふうに思います。

それでは、よろしいでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、当局説明につきましては、今回提示させていただいた点も踏まえて、今後当局と調整の上、行っていきたいと思います。

そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) なければ、以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午前10時19分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文